

報道関係者 各位

2015年9月3日

多様な人びとが暮らしやすい社会を実現する新たな可能性を考える

公開講演会「育児の人類学、介護の民俗学—フィールドワークによる再発見」

2015年11月13日（金）日経ホールにて開催!

国立民族学博物館（大阪府吹田市千里万博公園 10-1）では、公開講演会「育児の人類学、介護の民俗学—フィールドワークによる再発見」を2015年11月13日（金）に日経ホール（東京都千代田区）において開催する運びとなりました。

本講演会では、育児と介護の現場におけるフィールドワークから、少子高齢化をむかえた日本社会のゆくえを探ります。

■ ダウン症のある子どもを療育する人類学者 ■

娘の子育て経験をつづった『「ホーホー」の詩ができるまで—ダウン症児、こころ育ての10年』（出窓社、2015）を上梓した信田敏宏（本館教授）が、「心に寄り添う」「共感する」をモットーに取り組んできた子育てから、我が子の心が成長していくプロセスを語ります。人類学者として、父親として、これからの社会はどうあるべきか、心豊かで幸せな人生を送るために必要なこととは何かを問いかけます。

マレーシアの先住民の研究をしている視点からも、障害者やマイノリティなど社会的に弱い立場の人たちにとっての生きやすい社会を考えていきます。

■ 介護施設で働きながらお年寄りの話を聞き書きする民俗学者 ■

民俗学の「聞き書き」の手法を介護現場で試みた六車由実（民俗学者）が、介護現場における利用者と介護職員との関係性の変化について語ります。介護民俗学の実践を通して、人が最期まで人として生きられる、希望のある介護の在り方を探ります。

障がいのある子どもの家族や認知症、介護の現場などにつまとう否定的なイメージを払拭し、多様な人びとが暮らしやすい社会を実現する新たな可能性について考えます。

【プログラム】

総合司会：丹羽典生（国立民族学博物館 准教授）

17:30 開場

18:30 開会 阪本浩伸（日本経済新聞社 執行役員・大阪本社編集局長）

18:35 挨拶 須藤健一（国立民族学博物館 館長）

18:40 講演1 信田敏宏（国立民族学博物館 教授）

19:15 講演2 六車由実（デイサービス「すまいるほーむ」管理者・生活相談員、民俗学者）

20:05 討論 コメント：鈴木七美（国立民族学博物館 教授）／信田敏宏／六車由実／司会：南真木人（国立民族学博物館 准教授）

20:40 終了



【お問い合わせ】 国立民族学博物館 総務課 広報係

電話：06-6878-8560（直通） Fax：06-6875-0401 Mail：koho@idc.minpaku.ac.jp

プレス向けウェブサイト www.minpaku.ac.jp/press

【公開講演会とは】

公開講演会は先端的な研究活動を取りあげ、その成果を社会に積極的に還元するとともに、文化人類学・民族学を通じての異文化理解と、広く本館が学術研究機関であることの認識を一般市民に深めてもらうことを目的として、毎年東京と大阪において実施しています。

【開催概要】

講演名	公開講演会「育児の人類学、介護の民俗学－フィールドワークによる再発見」
日時	2015年11月13日(金)18:30～20:40(17:30開場)
会場	日経ホール(東京都千代田区大手町1-3-7 日本経済新聞社ビル3階)
講演1	「心に寄り添う子育てとは？－遊びと学びのすごろくワールド」信田敏宏(国立民族学博物館 教授)
講演2	「聞き書きで介護の世界が変わっていく－介護民俗学の実践から」 六車由実(デイサービス「すまいるほーむ」管理者・生活相談員、民俗学者)
討論参加者	鈴木七美(国立民族学博物館 教授)／司会:南真木人(国立民族学博物館 准教授)
申込/参加費	要事前申込(先着順)／無料(参加証が必要)／手話通訳あり
申込方法	「11月13日講演会参加希望」と明記の上、ハガキ、FAX、メールにてお申し込みください。お申し込みの場合は、次の①～⑤を記載してください。①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④連絡先電話番号 ⑤今後の講演会などのご案内送付希望の有無(次のア～ウのうち希望する記号→ア。講演会を含む民博主催の研究会・催物等の案内を希望する／イ。講演会のみ案内を希望する／ウ。いずれの案内も希望しない) 10月上旬より順次参加証を発送する予定です。 *応募者多数の場合は、ご参加いただけない場合もございます。*2名様以上でお申し込みの場合は、それぞれの方について①～⑤をご記載ください。*手話通訳をご希望される方、車椅子をご利用される方は、お席をご用意いたしますのでお申し込みの際に必ずご記載ください。*参加申込をいただいた方の個人情報、参加証の発送、次回以降の講演会などのご案内以外には使用いたしません。
宛先	〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1 国立民族学博物館 研究協力課 FAX 06-6878-8479 / メールアドレス koenkai@idc.minpaku.ac.jp
主催	国立民族学博物館・日本経済新聞社

【登壇者紹介】

信田敏宏(国立民族学博物館 教授)

専門は社会人類学・東南アジア研究。博士(社会人類学)。マレーシア先住民オラン・アスリの研究に従事。著書に『ドリアン王国探訪記』(臨川書店、2013)、娘の子育て経験をつづった『「ホーホー」の詩ができるまで－ダウン症児、こころ育ての10年』(出窓社、2015)など。



むぐるま ゆみ

六車由実(デイサービス「すまいるほーむ」管理者・生活相談員、民俗学者)

民俗研究者。社会福祉士。介護福祉士。介護支援専門員。博士(文学)。2009年に大学教員から介護職員に転身。現在、デイサービス「すまいるほーむ」管理者・生活相談員。聞き書きにより介護をより豊かにする試みを続けている。著書に『介護民俗学へようこそ！』(新潮社、2015)、『驚きの介護民俗学』(医学書院、2013)など。



鈴木七美(国立民族学博物館 教授)

医療人類学・エイジング研究。博士(学術)。著書に『出産の歴史人類学』(新曜社、1997)、『癒やしの歴史人類学』(世界思想社、2002)、共編著に『高齢者のウェルビーイングとライフデザインの協働』(御茶の水書房、2010)など。

南真木人(国立民族学博物館 准教授)

専門は生態人類学・南アジア研究。学術修士。共編著に『現代ネパールの政治と社会－民主化とマオイストの影響の拡大』(明石書店、2015)など。

【お問い合わせ】 国立民族学博物館 総務課 広報係

電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@idc.minpaku.ac.jp

プレス向けウェブサイト www.minpaku.ac.jp/press